

がんになっても、 住み慣れた地域で安心して過ごせるように

参加費
無料

定員 450人(申込先着順)
〆切り 2月10日
対象 一般県民及び
在宅緩和ケアに携わる
施設関係者等

日時

平成24年 **2/19** (日)

13:00~16:30 (開場 12:00)

ロビーにて相談コーナーや介護用品の展示あり

場所

千葉市文化センター
3階アートホール

千葉市中央区中央 2-5-1
TEL 043-224-8211
JR千葉駅、京成千葉中央駅より徒歩10分



千葉県では、がんになっても住み慣れた地域で安心して過ごせるように、「在宅緩和ケア」の推進を掲げ、千葉県在宅緩和ケア支援センターを千葉県がんセンターに設置し、在宅療養のご相談をお受けしています。

このフォーラムでは、基調講演として、「妻を看取る日」の著者である垣添忠生氏に、奥様を家で看取られたご経験やグリーフケア、がん在宅医療への思いを語っていただきます。パネルディスカッションでは、千葉県がんセンター、在宅医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネージャーから、実践をお話しいただき、在宅緩和ケアの現状や問題点、今後の方向性を話し合います。

● 基調講演 「妻を看取る日 ～最期の日々 家で死にたい～」

講師 垣添 忠生 公益財団法人日本対がん協会 会長

1967年東京大学医学部卒業。都立豊島病院、東大医学部・泌尿器科助手などを経て1975年から国立がんセンター病院に勤務。同センターの手術部長、病院長、中央病院長などを務め、2002年総長に就任。2007年に退職し、名誉総長になる。2007年より現職。がん研究振興財団等、各種財団理事多数。主な著書に『患者さんと家族のためのがんの最新医療』、『妻を看取る日』、『がんと人生』。

● パネルディスカッション

「がんになっても、住み慣れた地域で安心して過ごせるように」

パネリスト： 浜 野 公 明 千葉県がんセンター地域医療連携室室長
山 本 雅 巳 和奏クリニック院長
山 口 和 枝 新習志野訪問看護ステーション
富 田 勲 片貝薬局 薬剤師
宮 崎 友 見 子 さんむ医療センター訪問看護ステーション
永 堀 清 子 富里市社会福祉協議会 ケアマネージャー
コメンテーター： 土 橋 正 彦 千葉県医師会副会長
コーディネーター： 藤 田 敦 子 NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア代表

お問い合わせ

千葉県在宅緩和ケア支援センター
(千葉県がんセンター内)
電話 043-264-5465

申し込み先

在宅がん緩和ケアフォーラム事務局(NPO法人ピュア内)
FAX 047-495-9555 Eメール kanwaforum@gmail.com
電話 070-5554-3734(火・金のみ)
URL <http://www.npo-pure.npo-jp.net/>

主催： 千葉県、千葉県がんセンター、NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワーク ピュア

後援： 千葉市、千葉県医師会、千葉県歯科医師会、千葉県薬剤師会、千葉県看護協会、千葉県がん診療連携協議会、千葉県社会福祉協議会、千葉県訪問看護ステーション連絡協議会、千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会、千葉県社会福祉士会、千葉県医療社会事業協会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護福祉士会、千葉県ホームヘルパー協議会、千葉県理学療法士会、千葉県民生委員児童委員協議会、千葉ヘルス財団、ちば県民保健予防財団、船橋地域福祉・介護・医療推進機構、NHK千葉放送局、朝日新聞千葉総局、毎日新聞千葉支局、読売新聞千葉支局、産経新聞千葉総局、日本経済新聞千葉支局、(株)千葉日報社、チバテレビ、東京新聞千葉支局、(株)時事通信千葉支局、(社)共同通信千葉支局、日刊工業新聞千葉支局、NPO法人医療・福祉ネットワーク千葉、千葉大学福祉環境交流センター